

令和7年度

# 「運営に関する計画」

～自己評価～

大阪市立みどり小学校

令和7年4月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題****【不登校児童の現状】**

不登校・不登校気味の児童はかなり多いが、これら児童は、担任を中心とする学年での働きかけや養護教諭・栄養教諭・教務主任・サポーター等々の教職員による登校支援と安心して活動できる居場所の確保などを通じて、全てではないが、一部の児童について登校できるようになったり、一定時間学校で活動できるようになったりするなどの改善がみられる。一方、新たに不登校・不登校気味となる児童が現れる状況が毎年続いている。

**【いじめ事案の発生状況】**

例年、数十件のいじめ事案が発生する。どの事案も重大事態には至っておらず、また、すべての事案について解決に至っている。いじめの様態としては「冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が大多数で、「仲間はずれ、集団による無視をされる」「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」と続く。1000人当たりの比率を比較すると、本校は本市平均に比べかなり低い数値となっている。これは、生活指導委員会を中心にクラスの状況把握やいじめの早期発見の体制を整え、クラス担任を中心に丁寧に児童の観察・看護を行っている結果であると考えられる。

**【家庭状況等の現状】**

令和6年度に2件のケースについて子どもサポート連携して対応してきた。このうち1件については令和7年度以降も継続しての対応となる。

**【全国学力・学習状況、学力経年調査の結果】**

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の平均正答率は国語科が69.0%(全国67.7%)、算数科が62.0%(全国63.4%)となり、国語科は全国平均を上回ったものの、算数科は僅かに下回った。正答率分布をみると、国語科は正規分布ではあるが低位層の幅が広い。算数科については、正答率が8割と5割とそれ以下の3極の分布となっている。

令和6年度「学力経年調査」では、同一母集団について調査結果の経過を見ると、調査対象となった4、5、6年生について教科毎の標準化得点は5年生については上昇の傾向が見られた。4・6年については、前年度よりやや下降していた。

**【全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果】**

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点は、男子60.0(大阪市51.1、全国52.5)、女子60.1(大阪市52.5、全国54.0)と男女とも大阪市平均および全国平均を上回った。男女とも大阪市平均および全国平均を下回ったものは「握力」のみであり、他は上回っていた。

### 【本校の課題】

不登校・不登校気味児童の在籍比率（2.51）が大阪市全体の在籍比率（1.97）を上回り、また新たな不登校・不登校気味児童も毎年複数名確認される状況を克服していく必要がある。いじめが不登校の要因となることもあるが、本校においても一定数のいじめ事案が確認されており、いじめ事案の早期発見および丁寧で確実な対応を行いいじめ事案の解消に努めていく必要がある。

こうした課題の克服にむけて、年間の教育活動を通じて多様な活動を取り入れた教育内容を提供することで児童の規範意識、協力・協働の姿勢、他者受容の姿勢を醸成し、また、児童個々の自己肯定感を高めていく必要がある。

学力面に関しては、正答率分布の下位層の児童が課題である。分かる授業楽しい授業の提供、個別最適化された授業の提供を通じて、児童の学習意欲の向上および基礎学力の確実な定着を図っていく必要がある。

体力・運動能力面については、多くの種目で大阪市平均および全国平均を上回る結果となっている。さらに、多様な運動に親しむ機会や体力向上に向けた取り組みを継続的に行っていく。

教職員の「働き方改革」にも取り組んでいるが、単に勤務時間を短縮すればよいというわけではなく、質の高い教育のための各種の準備が必要であり、そのディレンマが課題となっている。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、その解消した割合を98%以上にする。
- 令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「学校が楽しい」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を97%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、毎年、増加させる。
- 令和4年度から令和7年度の年度末の校内調査において、学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をとったケースの割合を毎年100%とする。
- 令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「学校のきまりを守っている」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を96%以上とする。
- 令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「自分にはよいところがある」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を低学年については93%以上、高学年については85%以上とする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の国語科の平均正答率について、全国平均との差を+3ポイント以上とする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の算数科の平均正答率について、全国平均との差を+3ポイント以上とする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査の国語科・算数科・理科について、平均正答率4割以下の児童を、いずれの学年も令和3年度より2ポイント減少させる。
- 令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「国語、算数の授業はよくわかる」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を87%以上とする。
- 令和7年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点を男女ともに令和3年度よりも4ポイント増加させる。
- 令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「体育の時間しっかり運動している」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を98%以上とする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内児童アンケートにおいて、「日々の授業の中で学習者用端末を活用して学習している」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末の校内児童アンケートにおいて、「進んで本を読んでいる」の質問にたいして肯定的な回答をする児童の割合を80%以上とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【1 安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。

⇒ (R6 85.5%)

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

⇒(R6 (0.81%))

○令和7年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、その解消した割合を98%以上にする。

⇒ [R6 100%]

○令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「学校が楽しい」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を97%以上にする。

⇒ [R6 94.6%]

○令和7年度末の校内調査において、学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をとったケースの割合を100%とする。

⇒ [R6 1件中, 100%]

○令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「学校のきまりを守っている」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を88%以上とする。

⇒ [R6 87.2%]

○令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「自分にはよいところがある」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を（低学年93%, 高学年85%）以上とする。

⇒ [R6 低91.8%, 高82.3%]

【2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。

⇒ (R6 42.3%)

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

⇒ (R6 72.7%)

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の国語科の平均正答率について、全国平均以上とする。

⇒ [R6 +1.3 全国 (67.7) みどり (69) ]

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の算数科の平均正答率について、全国平均以上とする。

⇒ [R6 -1.4 全国 (63.4) みどり (62) ]

○令和7年度の小学校学力経年調査の国語科・算数科・理科について、4年生以上の平均正答率4割未満の児童の割合を、前年度（国 11.8% 算 14.3% 理 9.1%）より減少させる。

⇒ [国 % 算 % 理 %]

○令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「国語、算数の授業はよくわかる」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を92%以上とする。

⇒ [R6 91.2%]

○令和 7 年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点を男女ともに前年度（男 57.8 女 56.8）よりも増加させる。

⇒〔男 女〕

○令和 7 年度の校内児童アンケートにおいて、「体育の時間しっかり運動している」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を 85%以上とする。

⇒〔80%〕

### 【3 学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く〕

⇒〔R6 1%〕

○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 85%以上にする。

⇒〔R6 80%〕

○令和 7 年度末の校内児童アンケートにおいて、「日々の授業の中で学習者用端末を活用して学習している」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を 87%以上にする。

⇒〔R6 86.7%〕

○令和 7 年度末の校内児童アンケートにおいて、「進んで本を読んでいる」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を 80%以上とする。

⇒〔R6 71.7%〕

### 3 本年度の自己評価結果の総括

各種調査や校内アンケート等においては、各教科や体力においてほぼ安定した状態を維持しており、児童の勤勉さが伺える。学力面については、新学習指導要領に基づき、「主体的・対話的で深い学び」を目標に定め、児童の「思考力・判断力・表現力」および「学びに向かう力」の向上に取り組んでいる。とりわけ、算数教育に力を注いでおり、教育指導員や別途招聘した外部講師の専門的指導を仰ぎながら全ての学年における校内研究授業を実施して、お互いの授業力を高める工夫をした。図書館利用についてはすべての学級が公平に利用できるよう割り振りを行い、読書習慣の定着を図っている。一人一台端末の活用についても、これと周辺装置を駆使した児童の学習理解を助ける方法について研究を進めているところである。さらには、「専科指導」を推進すべく、専科教員のみならず各担任による授業の入れ替えを行っている。また、地域・関係機関の教育力を活用すべく、民間団体による「お話の会」や社会見学の実施、企業によるキャリア教育、警察や自動車学校による安全教育などに取り組んでいる。特に安全については黄帽の着用や集団登校について指導している。どうしても守れない者が一部残っているが、繰り返し指導を続けている。登下校は保護者に一義的責任があり、その協力なしには事を成し得ない。引き続き呼び掛けていく。

「健康・体力の保持増進」については、「縄跳び」の重点期間を設けたり、ボールの貸し出しを行ったりし、自主的に体を動かす習慣を身に付けることができるような取り組みを行ってきた。トップアスリートによる夢授業も児童の運動に対する関心を高める効果が見られた。給食については、ただ食事をするだけでなく、アレルギー対応に細心の注意を払うとともに、委員会児童に食材の意味や残食の問題についての呼び掛けをさせている。保健指導においても、係児童が感染症対策や体力づくりについて啓発を行っている。

道徳教育の推進に関しては、「いじめのない思いやりあふれる集団づくり」を目標に取り組を進めている。残念ながらいじめ事案が0とはなっていないが、粘り強い指導を継続している。また、指導方法についても、子どもに寄り添う気持ちを大切にしながら、他人の気持ちを思いやり、自らルールを守ろうとする姿勢を育てる工夫をしている。

全体として、本年度の学校運営を通して安定した教育活動を展開することができた。個別の課題は残されているが、学校総体としては安定した状態を維持することができており、さらに地道な取組を進めていきたい。

## 大阪市立みどり小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した  | B: 目標どおりに達成した           |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標   | 達成状況 |
|--|------|
| <p><b>【1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <u>86%以上</u>にする。<br/>⇒ [X%] (R6 85.5%)</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。<br/>⇒ [R7 (X%) R6 (0.81%)]</p> <p>○令和7年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、その解消した割合を <u>98%以上</u>にする。<br/>X月X日をもって⇒ [X%]</p> <p>○令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「学校が楽しい」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を <u>97%以上</u>にする。<br/>⇒ [R6 94.6%]</p> <p>○令和7年度末の校内調査において、学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をとったケースの割合を <u>100%</u>とする。<br/>⇒ [R6 1件中, 100%]</p> <p>○令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「学校のきまりを守っている」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を <u>88%以上</u>にする。<br/>⇒ [R6 87.2%]</p> <p>○令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「自分にはよいところがある」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を (<u>低学年 93%, 高学年 85%</u>) 以上とする。<br/>⇒ [R6 低 91.1%, 高 83.3%]</p> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】<br/>「個人の尊厳」を守り、互いを思いやり、いじめを起こさない集団を育む。(生)</p> <p>指標①<br/>校内児童アンケートにおいて、「学校は楽しい」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を <u>95%以上</u>とする。「学校のきまりを守っている」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を <u>95%以上</u>とする。</p> <p>指標②<br/>いじめ等、問題行動を「いいところみつけ」に記載し、情報の保存・共有・引継ぎを行う割合を <u>100%</u>とする。</p> |      |

|  |  |
|--|--|
| <p>取組内容②【1安全・安心な教育環境の実現】<br/>不登校・不登校気味児童、課題を抱える家庭への適切な働きかけを行う。(生)</p>  |  |
| <p>指標①<br/>不登校・不登校気味の現状を「いいところみつね」「個別の支援計画」に記載し、校内で共通理解を図る。不登校・不登校気味になる原因を探り、不登校児童の発生の抑制・改善割合を前年度以上とする。また、不登校・不登校気味児童への対応を学級担任以外にも支援できる体制の構築に取り組む。</p> <p>指標②<br/>生活指導委員会を毎月開催し、児童および児童の家庭環境についての情報交換とスクリーニングを行い、必要な児童・家庭に対応策をとる。学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をとったケースの割合を100%とする。</p> |  |
| <p>取組内容③【1安全・安心な教育環境の実現】<br/>防災・減災教育を推進するため、避難方法を周知するとともに、「自助・共助・公助の精神」などの防災意識の向上を図る。(生)</p>   |  |
| <p>指標<br/>震災、津波、火災、風害を想定した避難訓練を年間を通して計画し、各学期に1回実施する。また、教員へ向けての訓練も併せて実施する。</p>  |  |
| <p>取組内容④【2豊かな心の育成】<br/>共に学び、共に育ち、共に生きる子どもの育成をめざした人権教育・特別支援教育に取り組む。(研)</p>  |  |
| <p>指標①<br/>教員研修会や連絡会を毎学期行うとともに、各学年・学級での実践を年1回交流し共通理解を図る。</p> <p>指標②<br/>共に学び、共に育ち、共に生きる子どもの育成をめざした人権教育および特別支援教育の推進に向けて、全体計画・年間計画の作成と年間を通じた実践を行う。</p>   |  |
| <p>取組内容⑤【2豊かな心の育成】<br/>キャリアパスポートや懇談会も活用し、児童の自己肯定感・自己有用感の向上に向けた教育の充実を図る。(健)</p>   |  |
| <p>指標①<br/>校内児童アンケートにおいて、「自分にはいいところがありますか」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を低学年については90%以上、高学年については80%以上にする。</p> <p>指標②<br/>キャリアパスポートを活用し、児童面談や保護者との個人懇談会を年間2回行う。</p>   |  |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>   |  |
| <p></p>  |  |

次年度への改善点

## 大阪市立みどり小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した  | B: 目標どおりに達成した           |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標   | 達成状況 |
|--|------|
| <p><b>【2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <u>50%以上</u>にする。</p> <p style="text-align: right;">⇒ [X%] (R6 42.3%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を <u>80%以上</u>にする。</p> <p style="text-align: right;">⇒ [X%] (R6 72.7%)</p> <p>○令和7年度の全国学力・学習状況調査の国語科の平均正答率について、<u>全国平均以上</u>とする。</p> <p style="text-align: right;">⇒ [R6 +1.3 全国(67.7) みどり(69)]</p> <p>○令和7年度の全国学力・学習状況調査の算数科の平均正答率について、<u>全国平均以上</u>とする。</p> <p style="text-align: right;">⇒ [R6 -1.4 全国(63.4) みどり(62)]</p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査の国語科・算数科・理科について、4年生以上の平均正答率4割未満の児童の割合を、<u>前年度(国 11.8% 算 14.3% 理 9.1%)より減少させる</u>。</p> <p style="text-align: right;">⇒ [国 X% 算 X% 理 X%]</p> <p>○令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「国語、算数の授業はよくわかる」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を <u>90%以上</u>とする。</p> <p style="text-align: right;">⇒ [X%]</p> <p>○令和7年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点を男女ともに前年度(男 57.8 女 56.8)よりも増加させる。</p> <p style="text-align: right;">⇒ [男 X 女 X]</p> <p>○令和7年度の校内児童アンケートにおいて、「体育の時間しっかり運動している」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を <u>98%以上</u>とする。</p> <p style="text-align: right;">⇒ [R6 96.9%]</p> |      |
| <p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>  | 進捗状況 |
| <p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学力向上をめざし、分かる授業、楽しい授業に向けた授業改善に取り組む。また、学力向上委員会や研究推進委員会の活性化を図る。(研)</p> <hr/> <p>指標①</p>   |      |

|   |  |
|---|--|
| <p>各学年の授業研究会を行うとともに、メンター研修会、校内研修会など教員のニーズに合った各種研修会を年間10回以上行う。</p> <p>指標②<br/>児童の実態把握を進め、授業改善を図るため、学力向上委員会を隔月開催する。学力向上委員会では、教職員のニーズに応じた研修も行う。</p> <p>指標③<br/>研究推進委員会を各学期1回開催し、研究推進の方向性の決定や研究活動の進捗度合いを確認すると共に、全学年1回以上の研究授業を実施する。</p> <p>指標④<br/>校内児童アンケートにおいて、「国語、算数の授業はよくわかる」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を85%以上とする。</p>               |  |
| <p>取組内容②【4誰一人取り残さない学力の向上】<br/>基礎・基本の定着による学力の向上をめざし、朝の時間の活用を図る。(研)</p> <p>指標<br/>週3回の朝の時間を活用して英語や漢字、計算の学習に取り組む。</p>  |  |
| <p>取組内容③【5健やかな体の育成】<br/>児童の個別の課題を把握しながら体力の向上を図る。また、体力向上委員会を活性化し体育科の授業改善や体育的行事を計画実施する。(健)</p> <p>指標①<br/>「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点を男女ともに<b>大阪市平均より</b>1ポイント増加させる。</p> <p>指標②<br/>体力向上委員会を隔月開催し、各学年の体力・運動能力に関する実態把握を進めるとともに、体育科授業の改善や体力・運動能力向上に向けた取組を計画し実施する。</p>   |  |
| <p>取組内容④【5健やかな体の育成】<br/>「保健だより」「給食だより」等を定期的に提供し、児童に規則正しい生活習慣が身に付くように発達段階に応じた指導を図る。(健)</p> <p>指標①<br/>校内児童アンケートにおいて、「三食(朝食、昼食、夕食)をしっかりと食べようとしている」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。</p> <p>指標②<br/>保健だより、給食だより、生活目標を毎月提供し、それらをもとに各学級や全校朝会などで指導を行う。</p> <p>指標③<br/>校内児童アンケートにおいて、「学校のきまりを守っている」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を92%以上とする。</p> |  |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## 大阪市立みどり小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した  | B: 目標どおりに達成した           |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標  | 達成状況 |
|---|------|
| <p><b>【3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の<u>50%以上</u>にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕<br/>⇒〔R6 1%〕</p> <p>○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を<u>85%以上</u>にする。<br/>⇒〔R6 80%〕</p> <p>○令和7年度末の校内児童アンケートにおいて、「日々の授業の中で学習者用端末を活用して学習している」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を<u>90%以上</u>にする。<br/>⇒〔R6 86.7%〕</p> <p>○令和7年度末の校内児童アンケートにおいて、「進んで本を読んでいる」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を80%以上とする。<br/>⇒〔R6 71.7%〕</p> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【6 教育DXの推進】</p> <p>一人一台学習者用端末の環境を生かし、タイピング練習、画像や製作物の保存や展開、ネット検索、発表ノートやパワーポイントの作成等において段階的な指導を進め、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組を進める。(教)</p> <p>指標</p> <p><u>ICTを活用し、児童が「新たにわかったことがあった」「疑問に思っていたことが解決できた」と実感できるような取り組みを進める。また、校内児童アンケートにおいて「ICTを活用して新たにわかったことがあった、疑問が解決できた」と肯定的な回答をする児童の割合を88%以上にする。</u></p> |      |
| <p>取組内容②【8 生涯学習の支援】</p> <p>子どもたちが進んで本に親しむ環境を整備し、「読書のできる時間の設定」「読書カードの活用」「学級文庫の定期的な入れ替え」などを行うことで、学校図書の効果的な活用に取り組む。(教)</p> <p>指標①</p> <p>各教科との関連図書を活用する取組を年に2回以上行う。</p> <p>指標②</p> <p>校内児童アンケートにおいて、「<u>学校で本を読む時間がある</u>」か「<u>本を読むことが好きだ</u>」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を85%以上とする。</p>                              |      |

|  |  |
|--|--|
| <p>取組内容③【9家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】<br/>         ゲストティーチャーや地域の方、体験的な活動ができる関係機関などの協力を得ながら、各学年の実態や発達段階に応じた活動を取り入れる。<u>また、各教科・単元と関連付けて行う。</u>（教）</p> |  |
| <p>指標<br/>         各学年の実態に応じ、教科との関連も加味しながら、体験的な学習を全学年とも年間2回以上取り入れる。</p>  |  |
| <p>取組内容④【9家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】<br/>         円滑な教育活動に取り組めるよう徴収金業務を滞りなく実施する。（庶）</p>  |  |
| <p>指標<br/>         教育資源である資金の管理について、毎月「未納通知」による周知を行い、2月までに未納率を10%以下にする。</p>  |  |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>   |  |
| <div style="border: 1px solid black; height: 500px;"></div>  |  |

次年度への改善点